

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタジオそら幡ヶ谷			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～	2024年12月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数)	26名
○従業者評価実施期間	2024年11月17日		～	2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年1月31日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の内容について、「児童発達支援計画」を示しながら、詳しく丁寧な説明がなされています。	対面を基本として、内容や優先順位についてひとつずつ説明しています。基本的に保護者要望に沿った内容で支援計画を作成していますが、アセスメントやお子様の様子から設定する項目については意図を含めてより丁寧に説明を行っています。	対面が難しい保護者には、電話などで直接説明できるように努めてまいります。また、作成させられた計画に対し、保護者に納得を得られるよう、保護者が意見を表出しやすい環境を作りたいと思います。
2	保護者ニーズも踏まえた上で、児童発達支援計画に沿って活動を行い、目標を達成できるよう支援を行っています。	職員間で打合せをした上で、支援計画に沿ったプログラムを作っています。またプログラムの中においては、その時の目標や達成状況に応じ、様々なプロンプトを用いると共に、苦手なことも取り組めるようスモールステップ、自己肯定感を高める声掛けを行っています。	毎回担当職員が違うため、打合せはプログラムや活動意図、達成度が支援計画に沿っているか職員間で確認する重要な機会であると思っていますので、内容を深め、確実に打合せができる環境と整えていきます。また、目標が達成できるようなプログラムはや補助について、適宜研修を行っていききたいと思います。
3	保護者ニーズを丁寧にヒアリングした上で、児童発達支援計画を作成しています。	支援計画更新にあたっては、保護者様と基本的に面談を実施した上で計画を作成しています。	今後も確実に面談が設定できるように、スケジュールを調整しながら、丁寧なヒアリングに努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員からお子様の状況について積極的に聞かれなかったり、職員によって対応にばらつきがあり、保護者の方が話を共有できていないように感じることがあります。	主にフィードバックの時間を利用して情報共有を行っていますが、時間が限られていることや、人員の関係で十分ではないことがあると思います。また、職員につきまして、経験年数の違いから、対応のばらつきが出てきていると思われます。	時間が限られている場合がございますが、必要時は適宜面談をご案内いたします。日々小さな出来事を共有することが、保護者様がお子様の共有が十分になされていると感じることにつながると考えますので、限られた時間でも、職員からお子様の状況についてお伺いできますよう、努めていきます。また、定期的にスタジオ内研修などを実施していききたいと思います。
2	お子様や子育てに助言をあまりもらえないと感じています。	フィードバックの時間が限られていることで、十分な助言ができていない場合があると考えられます。また、経験年数や経験の違いから、職員が保護者の方に納得していただける助言を提供できていないこともあるかもしれません。	時間が限られている場合がございますが、必要時は適宜面談をご案内いたします。また、活動の中からお家で実践していただけるような内容などございましたら、積極的に伝えていくよう努めていきます。また、定期的にスタジオ内研修などを実施していききたいと思います。
3	道具類が常に見える状態で片付けられているため、活動に集中しにくいお子さんがいます。	道具の棚は一部扉つきのものもありますが、それぞれのお部屋に目隠しが無い棚もあります。	安全上必要な場合、また道具が見えていることで活動に取り組むことが難しい場合には、適宜必要最小限の道具以外は別室に片付けるなどの対応をいたします。

【公表】保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名		スタジオそら幡ヶ谷				公表日	2025年3月1日			
		利用児童数	31名		回収数	26名		回収率	83%	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	7	0	0	・他子との活動スペースに仕切がされていなくて残念です。 ・のびのびと活動できるスペースがあります。	物理的な仕切はありませんが、線を引いて視覚的にスペースを提示しています。今後も各部屋やスペースの使い方を工夫しながら安全に配慮して活動を行っていきます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	2	0	0	・年齢の小さい子どもにはもう少し手厚くフォローしてもらいたいです。 ・手厚く見ていただいている、とてもありがたいです。	法令上の配置基準を満たしておりますが、安全が十分確保されるように、必要であればサブ先生をつけるなど配慮していきたく思います。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	4	0	1	・視覚に強い子には設備以外の備品類は見えないようにしてほしいです。 ・机の部屋が別れているのが本人にとっても切り替えやすいようです。 ・空気がこもっている気がします。 ・常に綺麗だと思います。	必要に応じて道具を移動させるなどの対応を行っていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	24	2	0	0		全熱交換器により常時換気を行っております。今後も清潔で心地よく過ごせる環境を目指します。		
適切な 支援の 提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	3	0	1	・理学療法士や作業療法士に月1でもいいので見てアドバイスもらいたいです。 ・特性をよく理解してもらって助かっています。	現状は理学療法士や作業療法士の対応は行っておりませんが、今後必要に応じて検討いたします。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	1	0	0	・運動も机上の活動も、バランスよく取り入れていただいています。	HPにて支援プログラムを公表しております。お子さま一人ひとりに合わせた支援ができるよう努めてまいります。		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25	1	0	0	・ヒアリング等丁寧にしていただけています。	引き続き、保護者さま・お子さまのニーズを聞き取り、必要な支援ができるよう支援計画の立案を行います。		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	2	0	2	・家族支援に関しては適宜、相談に対応くださっています。	より良い支援ができるよう、お子さまに必要な支援内容について具体的に設定できるよう努めてまいります。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1	0	0	・困りごとやこを特にお願いしたい、というポイントを適切に指導していただいていると感じます。	打ち合わせや振り返りを行い、より充実した支援ができるよう努めてまいります。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	4	0	2	・色々なやり方で飽きずに取り組めるように考えていただいている助かります。 ・季節ごとのイベントみたいなものもあります。	引き続き、お子さまの状態にも寄り添いながら、目的や意図に応じて様々なプログラムを提供できるよう検討してまいります。		
	11	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	8	5	2	11	・その必要性を感じないです。	ニーズが少ないため事業所内での交流はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。		
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	0	0	0	・初回で説明いただきました。	引き続き、丁寧に分かりやすい説明に努めてまいります。		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	0	・わかりやすく説明していただきました。	引き続き保護者のニーズと相違がないよう丁寧な説明を心がけてまいります。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	4	3	7	・ペアトレも実施していただくと助かります。 ・区の保護者イベントの情報提供やアプリの案内をしてもらいました。	プログラムとしてペアレントトレーニングは行っておりませんが、ご相談等ある場合には個別に対応しております。その他区の研修等の情報も引き続き提供してまいります。		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていていると思いますか。	24	2	0	0	・こちらの家での話もとても丁寧に聞いてくださるので情報共有がしやすいです。 ・担当者によっては、一方的な説明で終わり、なかなか子どもの状況を共有が難しいです。	フィードバック時は限られた時間ではありますが、十分お子様の共有ができるように細やかなコミュニケーションを心がけてまいります。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	5	3	1	・定期的な面談があります。 ・とても的確なアドバイスがいただけて助かっています。	支援計画の更新に合わせて、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声がけください。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	2	0	1	・いつも心から子供の成長を喜んでくれて、一緒に子育てをしてもらっていると嬉しく感じています。	引き続き、ご家族やお子さまの状況に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	5	14	・特に必要ありません。	ニーズが少ないため実施はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	2	1	4	・よく相談をするし聞いてもらえています。	相談いただけることを引き続き周知するとともに、お話いただいた内容につきましては迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	2	0	0	・子どもも親も配慮してもらえています。	今後も密接に連携が取れるよう、コミュニケーションを取ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	2	1	2	・おたよりなどがありよいです。	HPIに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っています。今後も周知に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	1	・特に気になる事はありません。	引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	0	2	・マニュアルはわからないが、定期的に避難訓練を実施しています。	各種マニュアルは待合室に備え付けてありますので、今後は広く周知できるように工夫してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	0	0	2	・避難訓練は実施されています。	定期的に避難訓練を実施しております。会員の皆様にも参加のご協力をお願いいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	0	1	・避難訓練の経路や避難場所等説明がありました。	安全管理計画を策定し、社内で研修を行っています。何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	7	・気にならないような小さな転倒ですらとても丁寧に説明いただいています。	事故対応について、マニュアルに定め社内周知しております。引き続き軽微な転倒等も含め、迅速丁寧な対応に努めてまいります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	1	0	0	・どの先生に対しても安心しているみたいです。	お子さまが安心して過ごせるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	4	0	1	・時間中は笑ってる場面をよく見るので楽しそうです。	お子さまが楽しんで活動に参加できるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	3	0	0	・成長を感じます。 ・運動面も机上活動もバランスよく行ってくれありがたいです。	今後とも事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力してまいります。

## 【公表】事業所における自己評価(児童発達支援)

事業所名		スタジオそら幡ヶ谷		公表日		令和7年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	人数が多くなる場合は別の部屋を使用したり、時間を調整して活動を行っています。	分割したスペースや他児がいることで活動が制限されないよう、最適な活動ができるための調整を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	常に基準の配置数が満たされるよう出勤者を調整しています。	配置数としては適切であるが、安全面やこどもに十分対応できるよう、人事とも相談して安全に療育を提供できるよう検討していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	活動によって部屋を分けて活動の切り替えがされやすいようにしています。	洗面台が高い、洗面所・トイレが1段高くなっているため、これからもこどもに応じて環境整備を行なっていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日清掃や消毒を行ない、月に1回は事業所全体の点検を行なっている。	引き続き清潔な状態を保てるように整備を行なっていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	必要に応じてクールダウンを行う部屋を使用できる環境となっています。	部屋数が多くないため、必要時に道具等の移動が必要になる場合がありますが、今後も必要に応じて個別対応ができる部屋の確保を行なっていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎月業務の目標設定と振り返りを行い、職員全体に意見を求めています。	今後より職員が関わることができるような仕組みを考えていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年保護者評価を実施しています。また、頂いたご意見につきましては、全体で振り返りの機会を設け、改善につなげています。	ご意見につきまして、速やかに周知、改善できるよう、努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	朝礼、昼礼、終礼時、スタジオ会議、職員面談やその他日常場面でも意見の吸い上げを行い、改善につなげています。	より意見の吸い上げを行うことで、より良い支援が行われるよう努めていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6	第三者評価は行っておりません。	必要に応じて実施を検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	全社員での研修や、社内研修、スタジオ内研修、また社内サイトやマニュアル等により、学びの機会を常に設けております。	引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保してまいります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ガイドラインに基づき支援プログラムを作成し、HPにて公表しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	社内独自のアセスメントツールを用いて子どもの課題を分析しております。	社内独自のアセスメントツールを活用しながら、引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	必ず複数の職員でケース会議を行い、職員全体で意見を出し合い検討を行っています。	業務の関係で参加職員の人数が少ないことがあるため、より多くの職員が意見を出せるように、ケース会議のやり方や日程調整を工夫していきたい。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	プログラムは支援計画に基づき実施し、プログラム作成前には職員で打ち合わせを行なっています。	打ち合わせが時間の都合上行えないこともありますが、時間を確保できるよう努めていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	社内独自のアセスメントツールの活用その他、日々の行動観察や保護者からの聞き取りをもとに行っています。	継続して社内独自のアセスメントツールを使用したり、保護者とコミュニケーションをとりながら児童の様子を把握していきます。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	保護者との面談などやアセスメントを通してガイドラインに沿った目標を設定しています。	引き続き適切な設定がなされるようにしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	プログラムは支援計画に基づき実施し、プログラム作成前には職員で打ち合わせを行なった上で、担当職員がプログラムを立案しています。	打ち合わせが時間の都合上行えないこともあるが、時間を確保するように努めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	前月、当月の提供記録を参照しながらプログラムを設定しています。また、担当職員が連続しないように配慮しています。	固定化が必要な内容については意図的にを行い、研修等も実施しながらお子様が楽しく活動できるプログラムの立案を行なっていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	基本は個別療育を中心に取り組んでいますが、本人やご家族からの要望に沿って、児童によっては、集団利用も想定しながら目標を設定しています。	今後も必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼・昼礼を行い、振り返りや注意事項などを共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、安全により良い支援ができるように努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	必ず全職員が参加して保護者からの共有事項やお子さまの様子等を共有している。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	必ず記録をとり、次回のプログラム作成、支援計画のモニタリングの参考としています。	社内独自の手引き等を活用し、適宜記録の記入方法等を確認できるようにしてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	半年に1度モニタリングを行い、支援計画の見直しを実施しています。	より広く職員が参画できるよう、事前に計画を立ててモニタリングを実施していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者を中心にして参画しております。また、子どもの状況を複数職員に聞き取りを行った上で参加しています。	内容については事業所内で共有を行っていきます。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	保護者要望や必要に応じ、相談支援事業所や他事業所、通園通学先と連携を取っております。	引き続き適切な支援が行われるよう、必要時には連携を行っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	保護者の希望がある場合に積極的に連携しています。	より積極的な連携を図ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	保護者の希望があれば連携していきます。また就学支援シートの記入は希望があれば対応しています。	より積極的な連携を図ります。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1	今年度は児童発達支援センター職員が行う研修に参加しました。	引き続き事業所連絡会等を通し、研修等の参加、連携を図っていきたい。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	ニーズが少ないため、事業所内での実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	毎回フィードバックを通して、事業所での子どもの様子や変化を伝えると共に、家庭での様子の聞き取りを行っています。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等、個別に対応しております。また、HP等で情報発信も行っております。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していないため、今後必要に応じて検討いたします。
32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時や変更時、または必要に応じて説明を行っています。	引き続き保護者が十分説明を受けたと感じるよう丁寧に説明を行なっていきます。	

保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	目標設定に関しては面談を通して保護者や本人の意向の確認を行なっています。	今後も面談を中心に要望や意向の確認をしながら作成してまいります。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	基本的に対面で説明をして同意を得ています。	対面で説明することを基本にすることを継続し、よりわかりやすく丁寧な説明を心がけていきます。
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	半年に1回面談を行うとともに、希望があれば随時面談に対応しています。また日常的にフィードバックを中心にコミュニケーションを取っています。	フィードバック時の相談では対応が不十分なことがあるため、必要時は管理者との面談を設定したり、職員間で検討の上で対応しています。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	ニーズが少ないため、実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	相談窓口を設置し、掲示の上周知をしています。契約時にもご説明をしております。	相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めます。
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	メールや掲示、HP、アプリを活用して発信しています。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報書類は鍵付きの書庫で管理しております。また、面談は基本的に面談室で行い、フィードバックは他の保護者に聞こえないよう場所を工夫して行なっています。	事業所内のスペースは限られていますが、引き続き個人情報に配慮し、面談、フィードバック等を行ってまいります。また、鍵付き書庫が古くなってきているため、必要に応じて買い替えを検討していきます。
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	絵カードや文字での提示など、理解度に合わせた提示の仕方を工夫しています。保護者の方とも伝わりやすい表現で情報を伝えています。	今後配慮がより必要な子どもや保護者がいた場合には、方法をさらに検討していきます。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	イベントで地域のお店を利用しています。また、HPやSNSで活動の紹介をするなど、地域や一般の方に向けても情報発信をしています。	今後も、地域に開かれた事業所運営ができるよう努めてまいります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っております。	マニュアルが閲覧できることを掲示していますが、周知が不十分な面もあるため、今後もより周知されるよう方法を検討していきます。
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	年に2回訓練を実施し、引き渡し訓練、191訓練を行っています。	訓練に参加できない方への周知は今後も継続していきます。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	フェイスシートや発作時対応シートを提出いただき、毎年確認しています。	てんかん等の対応について職員間で周知できるようにしていきます。
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	食事の提供はありませんが、食育の際はアレルギーについて確認を行っています。フェイスシートでもアレルギーについてご記入していただいています。	今後も食育の機会が増えると想定されるので、アレルギーについて継続して確認を行ってまいります。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画を策定し、計画に沿って社内で研修や訓練を行っています。	安全管理が徹底されるよう、継続して研修や訓練を行ってまいります。
	47	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	熱中症の注意喚起など、何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。	引き続き、内容の周知を図ってまいります。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	毎日の打ち合わせの中で、ヒヤリハットを報告し、防止策について検討しています。	引き続き、毎日の確認を行ってまいります。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に虐待防止研修を実施しています。また、必要に応じて児童相談所・子ども家庭支援センターやその他の関係機関と連携を図っております。	引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	必要時は所内での検討、保護者への説明、を欠かさず行っています。	必要なケースがあれば、今後も丁寧に対応していきます。